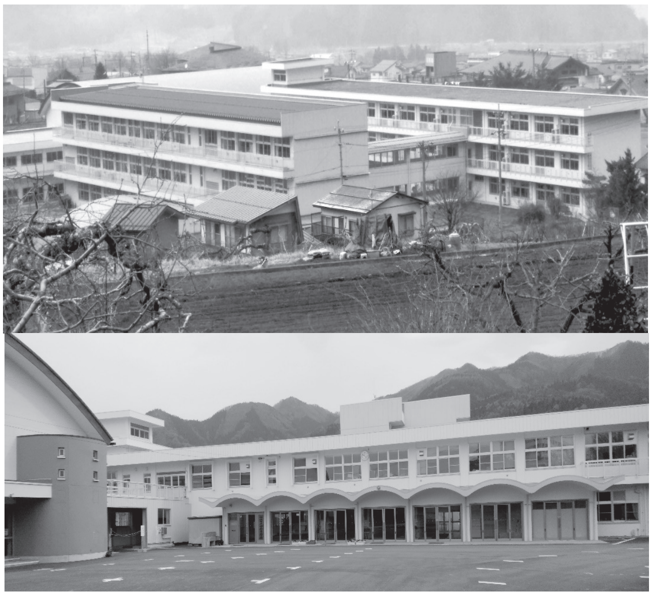
令和２年 第２回定例会

長寿命化改修工事完了 山ノ内中学校

令和２年第２回議会定例会は、２月27日から３月18日までの21日間にわたって開催されました。

町側からは、契約変更に係る専決処分の報告２件、令和元年度一般会計補正予算（第７号）のほか特別会計・事業会計の補正予算５件、条例の一部改正９件、条例の制定３件、令和２年度一般会計を含む８会計の予算、人事案件１件が提案されました。継続審査１件を含めすべて原案のとおり承認、可決、同意しました。

また、選挙管理委員及び同補充員の選挙を行ったほか陳情１件を採択、１件を趣旨採択しました。



２年におよぶ工事が完了した中学校

令和元年度 一般会計補正予算（第７号）

歳入歳出予算の総額にそれぞれ１億４１９万７千円を減額し、総額76億４６２２万２千円とするものです。

今回の補正は、国県補助金や諸事業の確定などによるものが多いほか、ふるさと寄附金の減少も反映されました。また、山ノ内中学校の長寿命化改修工事は完了しました。

〈歳入の主なもの〉

国庫補助金
自然環境整備交付金　２０５０万円

国庫負担金
保険基盤安定（国保・保険者支援分）　３１７万円

県補助金
経営体育成支援事業　▲５００万円
登山道等緊急整備支援事業補助金　１０２５万円

寄附金
ふるさと寄附金　▲５５００万円

〈歳出の主なもの〉

農地流動化補助金　１０３万円
農業振興費関係　▲７７４万円
町制度資金利子補給金　３２１万円
国立公園整備　４１００万円
地獄谷遊歩道緊急整備　４００万円
療養給付費負担金　▲１０７２万円
中学校施設工事　７８０万円
国民健康保険特別会計繰出金　７７４万円
介護保険特別会計繰出金　▲２７７万円

国民健康保険特別会計補正予算（第４号）

反対討論

渡辺　正男

28年度の国保税値上げは全く必要がなかった。国保税改定で的確な判断を下すためには直近のデータ開示が不可欠。30年３月議会に提案された29年度補正予算案は、歳入歳出ともに細部にわたり丁寧な補正だった。今回は歳出の補正はなく、保険給付費は当初予算のままで、直近の情勢は反映されていない。国保税改定が提案されている中で、その是非の判断基準となる補正予算がこれでは困る。

議会だより

YAMANOUCHI TOWN COUNCIL

第120号
令和２年４月23日
（2020）
発　行　山ノ内町議会
責任者　議長 山本 光俊
編　集　広報常任委員会

〒381-0498 長野県下高井郡
山ノ内町大字平穏3352-1
☎0269-33-1101
E-mail
gikai@town.yamanouchi.lg.jp

議会ホームページと
議会フェイスブックは
町ホームページからアクセス

山ノ内町議会 facebook ここをクリック

もくじ

令和２年第２回定例会関連記事……24
一般質問……26
陳情・議会全員協議会・議会運営委員会（活性化）……36
第13回議会報告会……37
予算審査……38
あの意見どうなった？……40
みんなのひろば・編集後記……41

終息見えず拡大する新型コロナウイルス感染症

緊急対応策について異例の緊急質問

今定例会最終日の18日に議会の同意を得て、渡辺正男議員が「新型コロナウイルス感染症にかかわる緊急対応について」を議事日程に追加して緊急質問を行いました。

質問の要旨は、①感染拡大防止にどう取り組むか。②地域経済、町民生活への影響は。③学校臨時休校にともなう対応は。④今後の補正予算対応の考えは。

緊急質問　定例会でも臨時会でも行うことができるが、質問が緊急を要するとき、その他真にやむを得ないと認められ、議会がその質問を行うことに同意したときに限られる。

下水道事業に係る特別会計が、公営企業会計化

条例の制定

- 下水道事業に地方公営企業法の規定を適用することを定める条例
- 下水道事業の地方公営企業法適用に伴う関係条例の整備に関する条例
- 下水道事業の地方公営企業法適用に伴う関係条例の廃止に関する条例

地方公営企業法及び施行令の規定に基づき、公共下水道事業、特定環境保全公共下水道事業及び農業集落排水事業に地方公営企業法の規定の全部を適用し、関係条例の整備を行うとともに既設の公共下水道事業特別会計条例、公共下水道設置条例、農業集落排水事業特別会計条例を廃止し、令和２年４月１日から施行するもので、全会一致で可決しました。

条例の一部改正

条例の一部改正は10件のうち、国民健康保険税条例の一部改正は賛成多数で、他９件は全会一致で可決しました。

職員定数条例

職員定数合計に変わりはありませんが、一部部署の定数を変更するものです。

名誉町民条例

「永世名誉町民の称号記は、その遺族に贈るものとする」を加えるものです。蟻川浩雄様のご遺族に贈られました。

特別職の職員の給与に関する条例

県の改定により、学校薬剤師の給与の改定などです。

国民健康保険税条例

国民健康保険税の所得割、資産割、被保険者均等割、世帯別平等割を引き下げ、後期高齢者支援金等課税額の被保険者均等割、同世帯別平均割、介護納付金課税被保険者に係る所得割、同被保険者均等割、同世帯別平均割が値上げになるもので、町ではトータル的に平均約10％ほど引き下がる試算をしています。

反対討論　渡辺　正男

令和２年度の国保税算定の基礎となる県納付金は、４億２３６１万円。対前年度比84・５％で７７６０万円の減。保険税は全体とすれば値下げだが、県への納付金の大幅減によるものだけであり、残高約２億５０００万円の基金活用には全く踏み込んでおらず、将来の３方式への移行に向けた段階的資産割見直しも見込んでいない。一人６万円以上もの基金は、速やかに保険税軽減に充てるべきだ。

町営住宅等に関する条例

民法の改正により、敷金や修繕費用の負担を明確にするとともに条文の整備を行うものです。

町民住宅に関する条例

民法の改正により、町営住宅の一部改正とほぼ同じものです。

公共物管理条例

消費税の増税により、揚水式発電所以外の発電所の流水占用料を改正するものです。

私債権管理条例

町の私債権に係る遅延損害金等の約定利率は、法定利率を適用することに改正するものです。

有線放送電話施設管理条例

有線放送電話の遅延損害金は、私債権管理条例により５％を法定利率に改正するものです。

印鑑の登録及び証明に関する条例

12月定例会において、さらに慎重な審査を必要とするため継続審査となっておりましたが、登録を受けることができない者を「成年被後見人」から「意思能力を有しないもの」に改正するものです。

人事案件

固定資産評価審査委員会委員の選任

宮﨑　健一（横堰）
任期　令和２年４月１日から
令和５年３月31日まで

選挙管理委員及び同補充員の選挙

指名推選による議会選挙において、選挙管理委員及び同補充員が当選しました。

選挙管理委員

関　彦吉（天川）
望月　千弘（薬師）
大井　良元（宇木一）
野竹　ふき子（下須賀川）

同補充員

１山﨑　妙子（土橋）
２佐藤　茂（仲屋敷）
３小渕　和美（横倉三）
４徳竹　信治（下手）
（番号は補充の順序）
任期　令和２年６月６日から
令和６年６月５日まで

町管理職の退職

渡辺　千春（会計管理者）
山﨑　和彦（税務課長）
３月31日付で退職
長年にわたり大変ご苦労様でした。

ズバリ ここが知りたい

論戦　新型コロナウイルス感染症、自主防災組織、有害鳥獣対策　など

3月2日、3日の2日間にわたり行われました。

　一般質問とは、住民から重大な期待と関心を持たれる大事な議員活動です。議員がその市町村の行政全般にわたって、執行機関の疑問点をただし、所信の表明を求めるものです。議員主導による政策議論であることから、執行機関も十分な準備が必要となるため事前通告を行います。

　質問者１人の質問時間は25分です（答弁を含めて概ね１時間）。

　今議会の登壇議員は９人、傍聴者は３６人でした（大勢の傍聴をお待ちしています）。

①		髙田　佳久	・５会場で実施した議会報告会での意見交換会における意見・要望に対する考えは ・空き家対策の推進を
②		小林　　央	・観光大使の活用について ・イベントの効果について
③		白鳥　金次	・令和２年度予算について ・野生鳥獣被害防止対策について ・地域防災計画について ・COVID－19対策について
④		徳竹　栄子	・高齢者・交通弱者の交通システムについて ・町内児童のスキー振興について ・消防団について
⑤		髙山　祐一	・自主防災組織について ・町の各区への役職依頼について ・福祉乗物補助券利用について ・河川監視カメラについて ・災害周知方法について ・小学校のスキー教室ついて ・渋温泉から地獄谷線について
⑥		山本　岩雄	・総合教育会議について ・山ノ内町教育振興基本計画について ・障がい者に優しいトイレの設置状況について
⑦		渡辺　正男	・夜間瀬川緑地公園の環境整備について ・高齢者の保健事業にどう取り組んでいくか ・子どもが「中心」の教育行政を ・奥志賀高原の再開発にどう対応するか
⑧		布施谷裕泉	・持続可能なまちづくりについて ・子どもたちが健康体を維持するために必要な学校給食の在り方は ・子育て支援の充実に向けて
⑨		望月　貞明	・防災行政について ・人口減少に伴う社会の変化について ・新型ウイルス感染症について ・公共交通について ・有害獣対策について

議会報告会での要望に対する考えは

町長―貴重な意見として、今後の施策の参考にする

地域公共交通（楽ちんバスなど）の今後の対応は

総務課長 地域や関係議員と協働しつつ、公共交通の維持・確保につとめる。

質問 **北信地域振興局管内で検討している公共交通網※形成計画の進捗状況は。**

総務課長 昨年9月30日に研究会が開催され、岳北の4市村の不参加が決まったことで、今後は中野市と山ノ内町で検討していく。

令和2年度中に担当者レベルの協議が始まり、令和3年度末までに網形成計画を策定する予定。

台風災害時の的確な対応を

質問 **情報伝達手段、避難所の運営、自主防災組織との連携をどう考えるか。**

危機管理室長 SNSの活用も研究し、災害時には多くの方へ迅速に正確な情報が提供できるようつとめたい。

避難場所の選定、避難所開設における環境整備や運営にともなう職員体制の充実、備蓄品の供給のほか、避難所開設の情報提供も含め、自主防災組織との連携を図りながら対応したい。

第13回議会報告会　東部下会場

地区へ依頼する役職の集約・削減を

総務課長 地区の規模により、協働や順番制にする方法も考えられるので、地域で主体的に検討し、事務局に相談してもらいたい。

消防団の組織再編に対する考えは

消防課長 分団それぞれに抱える課題が異なっているため、柔軟な対応が必要となる。消防団幹部会や地域とも相談し、消防防災委員会で検討していく。

質問 **結論はいつまでに。**

消防課長 令和3年4月の新体制スタートを目指している。

効果的な有害鳥獣対策は

農林課長 猿害は有効かつ根本的な対策を確立していないが、県や関係機関と相談・連携しながら、柔軟性を持って対応したい。また、電動ガンの購入も検討しており、より効果的な対策を研究している。

質問 **鳥獣被害対策は、予算と人材を集中的に投入して対応をとるべきでは。**

町長 特別対策として野猿対策経費（100万円）の予算を組んだ。

質問 **野猿対策経費（100万円）の内容は。**

農林課長 有効な手だては今のところないが、全町的に対策を講じていきたいということで計上した。

空き家対策の推進を

建設水道課長 既存の空き家ごとに課題も異なることから、法律や建物に関する専門家のいる空き家対策協議会の意見を踏まえ、地域にも相談する中で対応を進めている。

質問 **安代地区にある空き家に対する今後の方針は。**

町長 住民・観光客の人身に関わることや農産物への被害が出ているので、重要施策の一つとして対応していきたい。

髙田（たかだ）　佳久（よしひさ）

※公共交通網形成計画：「地域にとって望ましい公共交通網のすがた」を明らかにする「マスタープラン（ビジョン＋事業体系を記載するもの）」としての役割を果たすもの。国が定める基本方針に基づき、地方公共団体が協議会を開催しつつ、交通事業者等との協議の上で策定する。

新型コロナウイルスの感染拡大で世界経済への影響がでている。とにかく一日も早い終息を願います。

髙田佳久のつぶやき

町民は立派な宣伝マン　町民みんなを観光大使に

町長―町のイメージアップにつながる人にお願いしている

こばやし　ひろし
小林　央

必要と思う人を選び、役割、報酬などをきちんと決め、効果ある活動をしていただくことが必要と考えるが。

観光大使の活用は

質問　**観光大使の任務、報酬、期間等を決める認定基準はあるか。**

観光商工課長　認定基準はない。報酬は支給していない。任期についても定めたものはない。

質問　**観光大使とは、東京など、外でこの町の宣伝をしていただく人と考えるが。**

町長　この町が好きで、そして町のPRにつながる皆さんに委嘱してきた。

質問　**私の考える観光大使とは違う。町でのゲートボール大会やスキー大会中心の活動はあまりに内向きだ。**

観光大使。下段はスポーツ大使

町長　報酬を払って、いろいろ縛るのではなく、「秋になったらブドウとリンゴを送るから」ということで受諾をいただいている。

質問　**最近観光大使にした溝畑さんはどの程度この町のことを知っているのか。**

観光商工課長　ＡＢＭＯＲＩの際に来られており、町の情報は相当にお持ちと思う。

質問　**観光大使にこの町の情報を定期的に知らせているか。また、この町の名刺は渡しているか。**

観光商工課長　情報提供はしていない。名刺については溝畑さんにはお渡しし使っていただいている。

質問　**ふるさと山ノ内会のメンバー、足立区長、この町のことを一番知っている全町民、おなじみのお客様などに名刺を持ってもらうのも方法と考えられるが。**

町長　特に名刺を渡さなくとも、今の観光大使はそのもので十分に効果がある。

イベントの効果について

質問　**1年間に行っているイベントの数は。**

総務課長　細かなものは含んでいないが、およそ100件である。

質問　**多いと感じる。それぞれに役場職員の労働コスト、直接・間接に経費が使われている。すべてのイベントが、当初の目的どおりに実施され、目的どおりの効果が上がっているか。**

町長　必要な都度必要なイベントを開催しており、それなりきの成果が上がっていると思う。

質問　**イベントの実施後はきちんと総括がなされ、必要な改善、場合によっては打ち切るなどの判断も必要である。総括は適切になされているか。**

総務課長　終了後実行委員会などで検証され、次年度に生かしている。また、大きなイベントについては行政改革推進委員会への報告もしている。

町内でイベントを
行ってくれる人が
観光大使？

小林　央のつぶやき

※COVID－19対策は

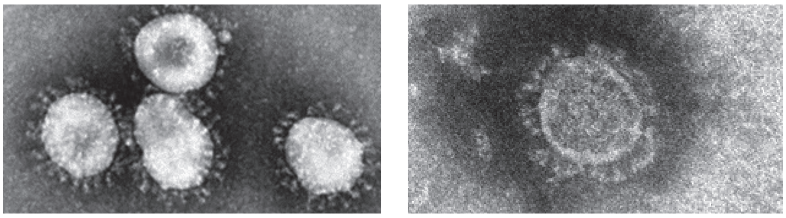
町長―感染防止に取り組んでいる

町長　国や県が発信する状況に基づき対策会議を開催し、当面、町民や観光関連事業者、福祉関係事業者等、情報共有をし、学校や保育園、道の駅、楓の湯等公共施設へアルコール消毒の増強設置や大勢の人が集まるイベント等の自制、具体的にはスノーモンキービアライブの中止やスキー大会の開会式の中止、小・中学校の休校など感染防止に取り組んでいる。

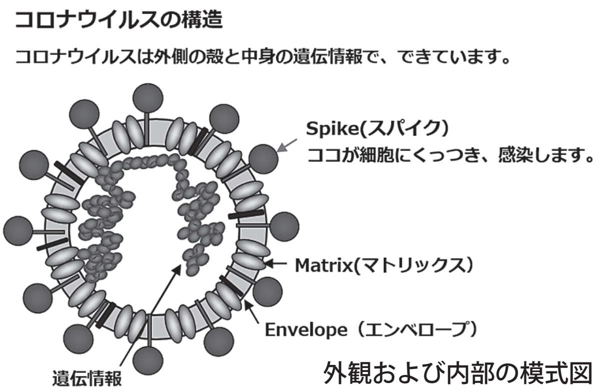
観光客への対策は

観光商工課長　1月22日付で、長野県健康福祉部長名の注意喚起についての通知があり、マスク着用、せきエチケット、手洗い、うがい等の基本的な感染予防対策に加え、当該疾患に関する不安などについて北信保健福祉事務所へ相談するなど、町観光連盟を通じて観光事業者へ文書にて周知を図っている。

また、感染が疑われる宿泊者が発生した場合の宿泊施設の対応や従業員の対策マニュアルについても、観光連盟を通じて周知を図っている。



上　電子顕微鏡写真（国立感染症研究所提供）



外観および内部の模式図（群馬大学医学系研究科提供）

住民への対策は

質問　**旅館、宿泊業はキャンセル等で苦慮している。**

町長　県の町村会あるいは長野県にたいして補助等のお願いをして行きたい。山ノ内町は観光と農業の町なので、住民の皆さん、業界の皆さんと共に一緒になって、精いっぱいその対策を進めていきたいと考えている。新年度予算で足らない部分は、補正予算等含めて考えていきたい。

質問　**小・中学校の臨時休校はどの時点で判断されたか。**

教育長　2月28日の11時から役場会議室において、緊急の校長会を開催した。この会議には、教育委員は3人、それから健康福祉課にも出席をいただき、その中でいつから休校するとか、問題点は何かとかを議論した。放課後児童クラブについても、何とか3月2日から対応できることや、学校の特別支援の先生方も児童クラブの手伝いもできそうだという中で、そこでの校長会、それから教育委員会として3月2日から当面の間、臨時休校することを決定して、会議後、町長に報告した。

質問　**児童・生徒・保護者への周知は。**

教育長　2月28日に教育委員会・各学校長名の連名で、新型コロナウイルス感染防止のための臨時休校を文書で通知をした。

しろとり　きんじ
白鳥 金次

※ COVID-19：新型コロナウイルス感染症は、新型コロナウイルスである SARS － CoV-2 による感染症のことです。WHOはこのウイルスによる感染症のことをCOVID-19と名付けました。「コロナウイルス」の名称はラテン語の corona（コロナ）およびギリシャ語の王冠または光冠（丸い光の輪）、花冠を意味する κορώνη（korṓnē コロネ）に由来する。

ありがとう
有り難う
「有る」ことが
「難しい」
多くの人のおかげで
生きている。
今日も、誰かに
「ありがとう」

白鳥金次のつぶやき

消防団の課題にどう取り組むか

町長―地域・消防防災委員会で検討していく

とくたけ えいこ
徳竹 栄子

質問 **人口減・高齢化の中定数の見直しの考えは。**

消防課長 機器資機材の配置、世帯数を基にした定数であり削減は考えていない。

組織再編成の実現を

質問 **何年も前から組織再編成の要望があった。今後どのように考えるか。**

消防課長 令和2年に1年かけ、スケールメリットの統合を基に、各区、消防団、町とで解決方法を協議し、3年度に新体制を考えている。

地域を守る消防団詰所全町20箇所
（北部分団詰所）

福祉乗物補助券の利用範囲の拡大を

質問 **町内タクシー事業者の運転手不足のため利用したくてもできない場合もあるとのこと。町外事業者の利用はできないか。**

健康福祉課長 町の施策のため町内事業者に限定する。

質問 **東京では今、事業者の人手不足や利用者の利便性を考え、乗り合いタクシーの営業方法を研究している。当町も事業者と研究したらいかがか。**

健康福祉課長 1営業所だけなので、研究してみたい。

楽ちんバス利用者の願いを

質問 **高齢者にとっては乗り換えは大変なこと。乗り換えは上林線のルート変更が一つの要因と考えるが。**

総務課長 長野電鉄を存続させるためにはやむを得ない措置だと考えている。

質問 **長電バスがなくなることは困ると理解しているが、住民の願いは。**

総務課長 中野市に直接行けないということが住民のためになっていないということにはならないと思う。

町長 町も苦慮しながら公共交通機関と問題の調整や、中野市と協議している最中である。町の考え方だけではできない。

質問 **公共交通網形成計画策定の現状は。**

総務課長 中野市、山ノ内町で令和3年に計画策定予定。中野市直接乗り入れの協議は来年度から開始する。

質問 **令和3年計画策定には利用者の願いを汲み入れていただきたい。考えは。**

総務課長 総合的な協議が必要である。中野市への乗り入れの意見を十分考えて行きたい。

児童のスキー振興の基本的考えは

質問 **山ノ内らしさとしてスキー教室の回数削減をすべきではないと考えるが。**

教育長 大変重要と考える。スキー教室が2回から1回となった検証等を行い、意見交換もしていく。

新型コロナウイルス感染症の終息はいつになるのか。社会も経済もズタズタ。早い特効薬の開発を願う。

徳竹栄子のつぶやき

河川監視カメラの設置は

危機管理室長―星川橋に設置予定

髙山（たかやま）　祐一（ゆういち）

質問　**先の19号台風の教訓で、町内主要河川に架かる星川橋、栄橋、夜間瀬橋に監視カメラの設置が重要と考えるが。**

危機管理室長　星川橋に1基設置される予定。設置者は県になると思うが、時間ごとの水位を見るためのものでどのくらいの時間で越水する可能性があるか判断するためのカメラ設置と理解している。夜間瀬橋については、中野市の所管で同様に1基設置される予定である。栄橋については、県がどのように考えて設置を見送ったかは把握してないが、必要性があれば引き続き設置要望をしていく。

なぜ減らしたスキー教室

質問　**この質問は、今年1月30日に開催した「議会報告会」で、町子ども会育成連絡協議会の役員の方からのものだ。小学校のスキー教室が、2回から1回に減らしたのは、山ノ内の子どもらしい教育としていかがなものか、という疑問が投げかけられた。なぜ減らしたのか。**

星川橋に設置された、河川監視カメラ
今後の利活用に期待したい。

教育長　経緯は、学校の職員会で検討し、PTAに説明した上で、学校として決定された。学校からの報告によれば、学校が希望する日と、スキークラブの日程が合わないことや、夏休みが長くなったこと、また、外国語の授業時間が増えていることなど、授業時数が確保しづらくなったことが理由である。

質問　**その結論が学校から上がってきたときに教育委員会としてどんな検討をしたのか。**

教育長　学校の決定事項を聞いたとき、できれば今までどおりにできないかという話をした記憶がある。東小学校については、学校の中で相談の上、低学年はなんとか2回実施していただいた。

質問　**外国語教育の関係で、授業時数確保がむずかしいとのことだが、なぜスキー教室がやり玉にあがるのか。**

教育長　スキー教室は、アルペンスキーを行うことである。冬場については、体育の授業の中でクロスカントリースキーも各学校でやっている。体育の授業を充実する中でスキー振興になればと考える。

質問　**1回を2回にする工夫はできないか。**

教育長　学校への聞き取りでは保護者からの2回に戻してほしいという強い要望は出ていないということだが、1回にしたことの検証をしっかりするよう要望はしてある。

朝から夜までコロナコロナ。自動車とストーブだけだったのに、太陽さんもいい迷惑だ。

髙山祐一のつぶやき

障がい者にやさしいトイレ（多目的トイレ）の設置は

町長―町総合計画やトイレ洋式化計画に基づき環境づくりを進めている

やまもと　いわお
山本 岩雄

障がい者にやさしいトイレの設置を

質問　町内のトイレの洋式化は。

町長　災害時に避難所となる施設は高齢者や障がい者などの要支援者に配慮した地域にやさしい町づくりを進める。

質問　多目的トイレの設置の検討は。

町長　トイレ洋式化計画に基づき進めている。町文化センターは令和４年までに完全洋式化、南小と西小は令和２年から改修を進める。志賀高原のトイレは、令和２年度から順次洋式化を進める。

質問　多目的トイレの整備状況は。

健康福祉課長　健康福祉課ですべては把握してないが、やさしい町づくりという観点で事業を行っており、すべての課に対し施設改修がある場合にはできるだけユニバーサルデザインにしてほしいと要望をしている。

多目的トイレ（野猿公苑駐車場）
こうした施設を増やしたい

質問　道の駅のトイレ増設の内容は。

建設水道課長　県の事業として女子トイレの増設・改修事業として既に着工されており、仮設トイレをつくり、その後本工事に移行していく計画である。多目的トイレについては、元々設置されているが、増設・改修工事によりベビーベッドやベビーシートにも対応する予定と聞いている。

小学校統合への取り組み

質問　総合教育会議の開催は。

教育長　平成27年から毎年開催されており、町長と教育委員が教育について重点的に講ずべき施策に関することを協議している。

質問　小学校統合に向けての取り組みは。

教育長　小学校適正規模適正配置等審議会からの答申を受けて、教育委員会が進めていく。

質問　統合に向けての町の教育ビジョンを示すといった統合の方向性は。

教育長　町としての教育ビジョンを示していくことは大変重要だと考えており、今後検討をしていきたい。統合に向けては子どもたちを一番中心に考えて保護者や地域の理解を得ていくことも重要だと考えている。

「町誌」・「山ノ内町の文化財」の改訂状況

質問　「町誌」の改訂状況は。

教育長　「町誌」の改訂は様々な課題があり進んでいない。

質問　「山ノ内町の文化財」の改訂状況は。

教育長　毎年老朽化した町指定文化財の説明看板を修繕、設置しており情報は更新している。「町誌」の編さんとともに関係者の皆さんのご意見をお聞きして対応を考えていく。

それにつけても町のホームページはもう少し親しみやすい、わかりやすいものにならないかなぁ

山本岩雄のつぶやき

夜間瀬川緑地公園の機能充実は

建設水道課長－新たな施設整備は考えていない

渡辺（わたなべ） 正男（まさお）

緑地公園の現状は

質問 台風19号の影響は。

町長 公園内で護岸洗堀の被害があった。

建設水道課長 北信建設事務所において復旧に向け準備を進めている。

質問 維持管理の現状は。

建設水道課長 草刈りなどの委託費や施設修繕で30年度163万円ほどの維持管理費になっている。

質問 マレットゴルフ場の位置づけと年間利用人数は。

建設水道課長 マレットゴルフ協会が芝生を有効活用し、主体的に整備したコースであり、公園の利用促進の面から町も協力して管理を行っている。町営施設として捉えているものではないため、利用人数の把握は行っていないが、協会に確認したところ、大会等の利用者が約2200人、そのほかに地区の愛好会、観光客、個人の皆さんも多数利用されているとのこと。

公園の環境整備は

質問 トイレ、ベンチ、木陰、四阿（あずまや）など、公園機能充実の考えは。

建設水道課長 河川敷を占用許可を得て設置している公園であり、河川内に建築物等を整備するのは難しいと聞いている。新たな施設整備等は考えていないが、ベンチ等の既存施設については来年度修繕したい。

中野市竹原のマレットゴルフ場のトイレ

質問 対岸の竹原の公園には水道も引いてあるトイレが2か所、四阿もある。いざという時には解体可能な施設ということだ。県に申請して許可を得れば、そういった施設の整備は可能ではないか。

建設水道課長 利用者の利便も踏まえ、可能なものは設置していきたいと思うが、まずは老朽化した既存施設の修繕から進めたい。

質問 不衛生な仮設トイレではなく、ちゃんとしたトイレの設置が利用者の願い。しっかりと計画を立てて許可を得る方向で進めるべき。

建設水道課長 公園のあり方や管理方法については、課内で調整し、県とも協議していきたい。

心休まる夜間瀬川はみんなの願い

質問 昨年11月の「子ども議会」で、南小の子どもたちから夜間瀬川について提案があった。水や生き物と触れ合える、心の休まるような環境を整えてほしいとの内容だった。どう考えるか。

町長 未来ある子どもたちが町政について語るということは、まちづくりにとって大変いいこと。子どもたちの純粋な思いを大切に、参考にしていきたい。

質問 夜間瀬橋の下は、大きな水たまりで通行できないことがあるとの住民からの指摘があるが。

建設水道課長 確かに気になるので、建設事務所等と協議していきたい。

「いつ終わる
パンデミックの 春寒し
マスク二枚で
生き残れとや」
（詠み人知らず）

渡辺正男のつぶやき

「ファミリーサポートセンター事業」[※1]町の考えは

健康福祉課長―ニーズ見込めず　援助者確保の課題もある

布施谷（ふせや） 裕泉（ひろみ）

子育て支援の拡充を

質問　ファミリーサポートセンター事業については以前にも取り上げているが、あらためて町の考えは。

健康福祉課長　援助者確保の課題の他、安全対策についての研修も必要。加えて第2期子ども・子育て支援事業計画に関わるアンケート調査ではニーズについての意見はなかった。

質問　ニーズについては個人的に3件の問い合わせを受けている。一つは山ノ内町に事業が無いことで隣接の中野市へ申し込んだが、市民ではないことで断られてしまったというもの。あらためて丁寧な意向調査の考えは。

中野市ファミリーサポートセンター事業の案内チラシ　応援者を広報で募集

健康福祉課長　昨年行ったニーズ調査は0歳から6歳までの就学前の子どものいる家庭を中心に実施しているが、その中にはなかったというもの。ただ潜在的なニーズはあるかもしれないので研究していきたい。

質問　今回は事業の位置づけを少し掘り下げてみたい。この事業の主体は。

健康福祉課長　町と認識。

質問　法的根拠は。

健康福祉課長　承知していない。

質問　この「ファミリーサポートセンター事業」は児童福祉法第21条の9に定められている子育て支援事業の一つ。「放課後児童クラブ」と同列で、条文の末尾には「事業が着実に実施されるよう市町村は必要な措置の実施につとめなければならない」とある。ぜひこれを踏まえた対応を。

町長　実態を充分把握してより良い保育に取り組む。

持続可能な町づくりに向け多様な農業推進を

質問　町内での自然栽培や有機栽培における生産状況は。

農林課長　JAながの志賀高原では14名が化学肥料を使わず減農薬でふじ栽培に取り組んでいる。また給食センターへ供給している野菜の一部は有機野菜と聞いている。

質問　特に果樹での有機栽培はハードルが高いが、かつては志している農家も結構いた。継続されていないのは行政の評価と理解が無かったからでは。

農林課長　当時のことはよくわからないが、評価が大事との認識はある。

質問　今年1月開催の「長野県有機農業推進プラットフォーム」[※2]の情報交換会に参加を打診したところ、職員2名の参加をいただいた。今後に向けてはいかがか。

農林課長　有機農業については正直これからという認識。プラットフォームという機会があるので積極的に参加を考えたい。

※1　ファミリーサポートセンター事業：乳幼児や小学生等の児童を有する子育て中の労働者や主婦等を会員として、児童の預かりの援助を受けることを希望する者と当該援助を行うことを希望する者との相互援助活動に関する連絡、調整等を行う。

※2　長野県有機農業推進プラットフォーム：有機農業や有機農産物に関心のある生産者、消費者などが集い、情報の交換や共有を目的に長野県が設置。令和元年8月に立上げのイベントが開催されている。

先の見えない予約キャンセル―観光の町を継続できるか否かの正念場。まさに行政力が問われている。

布施谷裕泉のつぶやき

消防団の再編は何年からか

消防課長－令和３年度から実施したい

もちづき　さだあき
望月 貞明

質問　人口減少により地域内の役職の人選が困難になっている。区では区長、組長など町行政に関連する役が48あり、そこに農家組合、祭祀団等を含めると57と世帯数ほどの役員が必要。中でも消防団員が一番多い。消防団の組織の統合など再編をすれば団員数は半減できる。これには、消防署・団幹部が基本案をつくり、関連区に示し了解をとる方法がよい。確認だが消防団再編の検討時期は来年度か。

消防課長　おっしゃるとおり令和2年度に計画し、3年度実施を目指したい。

SUGUメール早期拡大を

危機管理室長　現在の倍、2200を目標に区長会などを通して各種会合でチラシを配布し促進する。

質問　各区の集まりに職員が出向いて登録促進は可能か。また、総務課にメール登録相談コーナー設置は。

総務課長　職員の派遣は必要。コーナーは検討する。

中小河川に水位計設置を

質問　台風19号で夜間瀬川の水位は1回しかメール配信されていない。町民の不安を除くには、水位が下がった情報も必要。また、中小河川の水位情報も欲しい。簡易水位計設置を。

危機管理室長　配信回数の増は必要。簡易水位計の早期設置を県に要望する。

防災情報共有システム構築を

質問　各区の自主防災組織や消防団と危機管理室が情報共有する手段は。

危機管理室長　町情報発信はSUGUメール、戸別受信機、防災無線屋外放送。

質問　画面上で情報共有できる基盤的災害情報流通ネットワークの活用は。

危機管理室長　これは大規模災害用システムで町村に適用できるか検討したい。

消防団再編の中心となる分団
（写真は南部分団詰所）

避難所にエアコン設置は

質問　台風19号で初めて避難所が開設された。南部避難所は駐車場や増水時に夜間瀬川を渡る危険性を考慮し、南小体育館を基本に考えるべき。避難所・体育館にエアコン整備計画は。

教育長　整備計画はない。

福祉乗物補助券の中野市タクシー使用は

質問　福祉乗物補助券の利用割合は電車・バス各20%、楽ちんバス7%、タクシー利用が過半数。中野市でタクシーに使えないのは不合理。

町長　補助券は町内交通事業者利用を原則としている。

恒久電柵設置補助は

質問　簡易電柵の更新への補助は何年後か。

農林課長　設置から8年以上経過したものが対象

質問　積雪期の被害が大きいニホンシカに対応する恒久電柵設置補助は。

農林課長　まだ補助はない。

新型コロナウイルス対策

質問　観光客に新型コロナ感染者が出た場合の対応は。

健康福祉課長　県の指導に沿い対応していく。

東京五輪１年延期。
新型コロナ感染症が
いつ終息するか不明
だが、武漢のように
すれば半年か。

望月貞明のつぶやき

みなさんからの 請願・陳情

受理番号	件　名	陳情者	採決結果
陳情第１号	最低制限価格の設定に関する陳情	一般社団法人長野県建築士事務所協会 会長　小河　節郎 一般社団法人長野県建築士事務所協会 中高支部長　畔上　秀一	趣旨採択 (全会一致)
陳情第２号	国土交通省告示第 98 号の履行に関する陳情	一般社団法人長野県建築士事務所協会 会長　小河　節郎 一般社団法人長野県建築士事務所協会 中高支部長　畔上　秀一	採　　択 (全会一致)

議会全員協議会

第２回（２月27日）

⑴執行機関側からの提出案件
①第６次総合計画策定について
②下水道事業の地方公営企業法適用について
③東部浄水場更新事業について
④国民健康保険税の税率改正について

⑵議会側からの提出案件
①議会報告会結果について

第３回（３月11日）

⑴議会側からの提出案件
①選挙管理委員及び同補充員の選挙について

第４回（３月18日）

⑴執行機関側からの提出案件
①財務書類について
②（仮称）湯田中温泉公園整備に係る用地取得について
③介護保険制度における低所得者の第１号保険料軽減強化について
④新型コロナウイルス感染症対策について

⑵議会側からの提出案件
①平成31（令和元）年度議員活動費決算報告について
②地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書について

第５回（４月９日）

⑴執行機関側からの提出案件
①新型コロナウイルス感染症対策について

（仮称）湯田中温泉公園整備予定地

議会運営委員会(活性化)

第１回（10月23日）

⑴議長諮問について

第２回（11月19日）

⑴議長諮問について
⑵議会報告会について

第３回（１月７日）

⑴議会報告会について

第４回（２月10日）

⑴議会報告会結果について

第５回（２月20日）

⑴議会報告会結果について

27分野、353件の意見・要望が交わされた意見交換会　第13回 議会報告会

第13回議会報告会は１月19日(日) の北部公民館を皮切りに２月１日(土) のよませふれあいセンターまで町内５会場で開催いたしました。今回は、これまでと趣向を変え、意見交換を車座形式で班に分かれて行いました。２００人を超える多くの方にご参加いただき、多くのご意見・ご提言をいただきました。議会としても真摯に受け止めて、誠意をもって応えていきたいと思います。なお、今回出されたご意見、ご質問に関しては、後日報告書にて回答をさせていただきます。ご協力をいただいた各地区の関係各位ならびに参加者の皆様に厚く御礼申し上げます。

主な意見・要望

人口減少	人口減少・高齢化が進むなか、地区に割り振られる各種役職者を探すのが大変になっている。何らかの対応が必要。【南部】
有害鳥獣	温泉街の商店は戸締りをして、お客様とはインターホン・呼び鈴で対応している。行政において、駆除など喫緊の課題と捉え対応してほしい。【東部上】
消防団	入団２年目で役員になっている。定数、団の活動等、実情を把握しての見直しを要望。【東部上】
	団員の減少にともない、西部地区で一つの消防団とすることの検討を始めてほしい。【西部】
子育て	子ども議会やＥＳＤ教育、ユネスコスクールといった活動から子ども達が様々な提言をしているがそれらが実現できるように支えるようにしてほしい。【西部】
観光	外国人が捨てていくごみ対策、観光施設の周辺の整備（雑草処理等）、観光地に相応しい環境づくりが大切である。地域を巻き込んで行うことを考えても良いのではないか。【東部下】
公共交通	楽ちんバスの不便さを見るに、今後高齢化、過疎がさらに進むなかで、ここで暮らしていけるのか、住み続けられるのか不安が増す。議員は一丸となってこの問題の解決に取り組んでほしい。【北部】

参加者アンケートからの感想（抜粋）

●小グループにしてもらって意見や質問ができて良かったです。【西部】
●議員のなり手不足について、議員自身がもっと真剣に考えたほうが良い。【東部上】
●たくさんの意見が出て良かった。一つでも実行ができると良いと思います。また、行ってください。【東部下】
●議会報告会はとても良い取り組みだと思います。住民の意見をどんどん聞いて住みやすい、暮らしやすい町づくりを進めていただければうれしく思います。【北部】
●身近な要望を聞き取る活動を。【南部】

開催日	1月19日（日）	1月26日（日）	1月28日（火）	1月30日（木）	2月1日（土）
地　区	北　部	南　部	東部上	東部下	西　部
開始時間	15:00	15:00	19:00	19:00	17:00
会　場	北　部 公民館	ほなみ ふれあい センター	和合会館	文　化 センター	よませ ふれあい センター
参加者	24 人	40 人	43 人	43 人	53 人

文化センター

和合会館

第５次総合計画総決算の年

令和2年度 一般会計予算 70億2000万円を可決

予算審査は3月5日予算決算審査委員会（委員長布施谷裕泉、副委員長小林央）に付託。6日から4日間、審査を行いました。一般会計予算は賛成多数（賛成10反対2）で可決しました。特別会計予算では、国民健康保険特別会計と介護保険特別会計は賛成多数で可決、他の特別会計と公共下水道事業会計、農業集落排水事業会計、水道事業会計は全会一致で可決しました（詳しい予算概要は、本誌10ページから13ページをご覧ください）。

部会意見

一般会計

《共　通》

○令和元年東日本台風（台風19号）・寡雪・新型コロナウイルス感染症による町内への影響を的確に把握し、対応に万全を期すこと。

○第6次総合計画は、第5次総合計画の検証をふまえ、町民アンケートなどを反映させた実効性のあるものとすること。

《総務費》

○自主防災組織の育成は地域の実情をふまえすすめること。

○公共交通機関の維持をはかるため、利用促進策を講じること。

《民生費》

○障害者福祉計画に基づいて、障がい者にやさしい町づくりをさらにすすめること。

《農林水産業費》

○鳥獣被害対策（特に猿害）は、対策室を設置し、捕獲強化をはかること。

《商工費》

○やまびこ広場の整備は、関係者の意見を聞き、慎重にすすめること。

○インバウンド事業は、「先進的インバウンドプロジェクト支援事業」や国際交流員を活用し推進すること。

《土木費》

○老朽化した空き家への対策は、計画に沿って確実に実行すること。

○GPSを活用した除雪体制を確立すること。

《消防費》

○消防団の再編に向けては、地元意見を十分聞きながらすすめること。

《教育費》

○子育て支援については、理念を明確にして教育委員会と健康福祉課とで共有し、取り組むこと。

○就学援助費については、入学前に支給できるように制度の改善をはかること。

○志賀高原ロマン美術館の運営については、商業的利用を見据え、検討委員会を設置しすすめること。

特別会計等

《国民健康保険特別会計》

○基金を活用し、被保険者の負担軽減につとめること。

《水道事業会計予算》

○東部浄水場の建設には万全を期すこと。

移転して新築される東部浄水場

一般会計予算

反対討論　渡辺　正男

令和2年度は、昨年10月からの消費税引き上げ、記録的な寡雪、台風19号災害、そして新型コロナウイルスと、町民にとっては四重苦の中での不穏なスタート。歳入の町税は対前年度2.2%増の16億2393万円を見込むが、情勢を鑑みると達成は厳しいように思う。予算は新型コロナウイルス感染症対策関連費用が盛り込まれていない。今後大幅な補正対応が必要となる。迅速で的確な対応を求める。

賛成討論　山本　岩雄

歳入では、町税は収納率の向上を目指して2.2%増で、評価できる。

歳出では、国際交流員の設置やぶどう棚設置補助など町の基幹産業を推し進める予算付けとなっている。

災害復旧費では、8946万円が計上されている。

限られた財源の中、町民の生活を守り、安心な生活が送れるような予算付けと判断して賛成する。

総括意見

予算決算審査委員会　委員長　布施谷裕泉

中国、武漢市に端を発した新型コロナウイルス感染症拡大の影響が、国内製造業や観光など多業種に拡がり、日本経済の長期停滞が避けられない見通しとなっている。当町においても令和2年3月4日時点で、宿泊客の予約キャンセルが36000人泊に達するなど深刻な影響が出始めている。

このような経済環境の下で迎える令和2年度は第5次総合計画の最終年度であり、新たな第6次総合計画の策定年度となる大事な節目の年となる。

その令和2年度一般会計予算は、70億2000万円で骨格予算となった前年度予算71億9900万円からは8900万円（1.3％）減となるが、4年連続で70億円を超える予算となった。

(1)歳入について

歳入全体の23・1％を占める町税は、前年度比3533万円（2.2％）増の16億2393万円を見込む。町税の6割を占める固定資産税は、土地評価の下落傾向や新築家屋の減少などから調定額は減少となるものの前年度対比3100万（3.3％）増を見込み、同じく町税の3割を占める町民税については、前年度比770万円（1.6％）増の4億7600万円としている。これら町税については、人口減少や景気の不透明さから厳しい見通しを示しているものの、財政の大きな柱であることから、予算建てした税収確保に向けて決意を示している。達成の努力に期待したい。

ふるさと寄附金は4000万円減の2億6000万円を見込み、寄附金全体では3億1711万円（前年度比11・2％の減）を計上。

また歳入全体の29・8％を占める地方交付税については普通交付税で19億円、特別交付税で1億9000万円と前年度と同額を見込む。

(2)歳出について

全体では24項目の新規事業と27項目の拡充事業が計上されている。

産業分野では8項目の新規事業と7項目の拡充事業を計上し、基幹産業の一つとして観光振興費では、第1回ONSEN・ガストロノミーウオーキングを企画しているが、地域での食文化の体験が町の活性化につながることを期待する。合わせて、持続性を持った事業とするために地域と一体になったさらなる取り組みを求めたい。またインバウンド推進では外国人を前提に国際交流員の配置費が計上されているが、これまでにない新たな視点での取り組みに期待する。

もう一方の基幹産業である農業振興費では産地パワーアップ事業として、ぶどう棚設置補助が計上されている。シャインマスカットの需要が伸びていることで、さらなる振興を望みたい。また継続で農業アドバイザーの配置がなされているが、地域に根ざした農業施策を進める上でアクセル役としての存在に引き続き期待したい。

健康・医療・福祉分野では拡充のみ9事業が計上されている。福祉乗り物補助券給付事業に運転免許証返納者を含むとしたように、高齢化にともなうきめ細かな対応がさらに求められてきている。

教育・文化分野では新規4事業、拡充1事業が計上されている。新規計上の西小学校及び中学校グランドの整備は、これまで課題としていた雨天後の早期使用が可能となることで児童生徒の体力向上にもつながる。

都市基盤・生活環境分野では新規事業5項目、拡充事業7項目を計上。

消防、防災関係では元年10月に発生した令和元年東日本台風（台風19号）における豪雨に際し当町初の全町避難指示が出されている。避難所の在り方を含め、貴重な経験として今後に生かされたい。

(3)まとめ

当町は「自然と人間社会の共生」を目的にユネスコエコパークの町づくりを進めているが、令和2年度は志賀高原ユネスコエコパーク登録40周年を迎える。

小中学生の取り組むESD教育に先導される形で町民の環境意識も高まりを見せている。40周年を機に新たな視点で、そして当町ならではの発想力を持続可能な町づくりにつなげることができれば、今後に向けての新たな第一歩となる。

大自然を背景に、環境に配慮した町づくり、そして山ノ内らしい子どもを中心とした町づくりに向けて、行政として大いなる旗を打ち立てられたい。

国民健康保険特別会計予算

反対討論

渡辺　正男

保険税改定を前提に編成された予算なので賛成できない。新規事業である社会保障・番号制度システム整備費補助金によるオンライン資格確認等業務のシステム改修は、マイナンバーカードを保険証として使うようにするための事業。マイナンバーへのあらゆる個人情報の紐付け・突合には、情報漏洩の危険性がある、国家による個人の管理である、膨大な予算の無駄遣いであることなど問題が多い。

介護保険特別会計予算

反対討論

渡辺　正男

歳出は対前年度3902万円増の18億1861万円。保険給付費は対計画比では93・42％だが、今年度の実績見込みに対しては103・7％と増額を見込んでいる。ここ数年の動きから見てかなり多めの試算に思える。2年度末基金残高は約1億5000万円になるが、本来はゼロになるのが普通。第7期の保険料は高すぎた。保険給付費を多く見すぎた結果だ。給付に見合った保険料とすべき。

あの意見どうなった？

議会が付した令和1（平成31）年度当初予算審査意見（部会意見）への対応の現況

昨年の平成31年度当初予算審査で議会が付した意見に対して、町が1年間どう取り組んできたのか、令和2年度予算審査の前に現況報告があったものの一部を紹介します。

やまびこ広場は、子育て支援・観光振興に資するリノベーションとすること。

親水施設については４月25日に竣工式を挙行し、４月27日より稼働した。今夏は梅雨明け後、猛暑だったこともあり、親水施設には大勢の子ども連れの姿が見受けられ、一定の効果はあった。

公衆トイレには、親水施設稼働までを目途に、子ども連れの家族が利用しやすいよう、男女両方のトイレにベビーシートやベビーチェア、お子さまの簡単な着替えなどが可能なフィッティングボードを設置した。

現在は親水施設に隣接する水路の護岸工事及びスラックライン設置工事を進めている。

引き続き、令和２年度でバーベキュー広場の整備、三角塔の屋根改修等を計画しており、町民をはじめ、観光客にもより愛される広場となるよう順次整備を進める。

リノベーションが進むやまびこ広場

ヒルクライムは早期開催の実現を目指すこと。

町では、志賀高原ヒルクライムの実現に向けて、志賀高原観光協会との連携のもと関係機関との協議を行っている。令和元年度については、例年実施してきた志賀高原ロングライドを開催せず、ヒルクライム実現に向けての協議に集中してきた。

令和２年１月27日付で中野警察署長あて交通規制実施要望書を提出済みであり、現在、令和２年度実施に向けての長野県警察本部の判断待ちの状況。

（仮）すがかわふれあいセンター建設には万全を期すこと。

地元建設委員会や関係団体の意見・要望等を取り入れながら、令和３年度の建設竣工に向け万全を期す。

(仮)すがかわふれあいセンター建設予定地

子育て支援については、教育委員会と健康福祉課子ども支援係で一体的に取り組むこと。

子ども一人ひとりの教育的ニーズと必要な子育て支援について、保育園、学校、保健師、教育コーディネーターや関係機関と共通理解を深め、子どもに最も適した子育て環境の提供ができるよう支援していく。

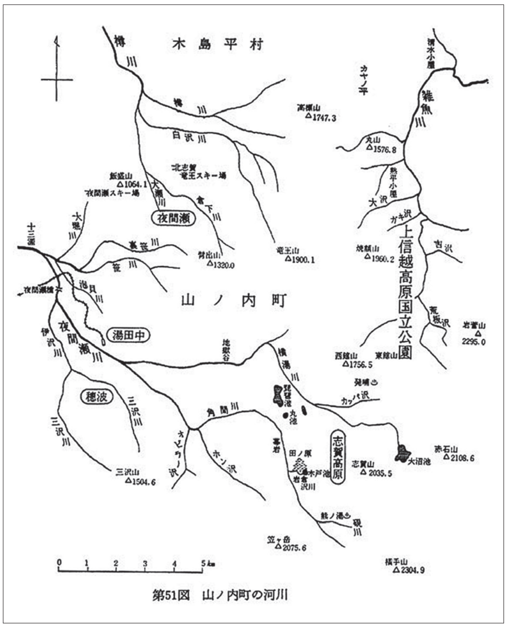
みんなのひろば

山ノ内町の豊富な水資源

山ノ内町は志賀高原の山間地を中心に豊富な積雪があります。春になると融雪水として何かが流入しない限り清流として流れ下ります。このように、山ノ内の水は『一次水』であるという大きな特徴を持っています。

ブランド化にむけて

「魚沼産コシヒカリ」はお米の有名ブランドですが、その田んぼには雑魚川の水が流れ込んでいます。と、なると同じ水で栽培された山ノ内米研究会が推進している「雪白舞」は食味コンクールでも高い評価を得ていますが、清流というメリットの反面、稲作としては低水温・低気温という山ノ内ならではの課題があります。



山ノ内の3水系　夜間瀬川・樽川・雑魚川（町誌より引用）

水を得るための苦労の歴史

山ノ内の米作りの歴史を振り返ると、もう一つ大きな課題がありました。畑など耕作する土地はあっても水がないために水田にすることができませんでした。水利権に阻まれていたからです。

特に江戸時代ではお米は食料だけでなく年貢として経済活動の基盤でしたから、開田による増収は生活の豊かさにつながりました。ですから、江戸時代から明治の初期にかけて山ノ内町の各地には水利権の問題のない雑魚川や群馬県などの遠方の水系から引いた堰が掘削されています。

大沼池の築堤、坪根堰、金倉堰、湯田中堰、新井堰、上条堰、横倉堰、若狭堰、須賀川堰、横手堰、土橋堰、箱石堰、屏風堰、寒沢堰といった文献や頌徳碑などで確認できるものでもその数20近くにもおよびます。

このうち、横手堰のように消滅した堰もありますし、寒沢堰のようにその権利を委譲した堰もあります。

竜王にある須賀川堰の水神社

反面、横倉堰と須賀川堰は夜間瀬かんぱいとして引き継がれていますし、上条堰や若狭堰のように今でも大切にされている堰もあります。

鍬や鎌といった農具だけで30km以上も離れた水源から水を引き、水田を開くその苦労はそれこそ命がけだったのです。さらに、堰の維持管理のための労力も大変なものだったのでしょう。

水資源を大切に

現在も行われている若狭堰の堰上げ

最近、菅の大近堰（おおぢかせぎ）の水源を確認して標柱を立てたという同水利組合の活動が報じられました。

西小学校では剣沢ダム、南小では澤治郎堰（寒沢堰）の学習をしています。

減反や果樹栽培にシフトした現在、大変な苦労の末に引かれた水の流れは、ただ水が流れているという状況になっています。

中には私財を投げ打って掘削を続けた先人への想いと山ノ内ならではの清流への想い、さらには最上流に住む者として下流地域の人々への責任を含めて、山ノ内の貴重な水源は大切にしていかなければと思います。

（文責　山本岩雄）

編集後記

今年度の議会報告会に初めて参加した。私自身も議員になる前は、議会や行政にはちょっと身構えたり、距離を置いた感があったので、正直それなりのものかと思っていた。

ただ、今年度からは参加者を10人程度の3グループに分け、車座的な形式で住民の皆さんから要望や意見をお聞きしようとする形式の議会報告会に変更した。

結果は、大成功だったと思う。時間を超えて様々な想いや意見を頂くことができた。

ややもすると議員のなり手不足とか、議会へのマンネリムードがあったりもするが、どっこい住民の皆さんの想いにふれ、充実した感があった。

それにつけても、こうした想いに応えるためにも、情報の発信や住民目線に立った行政のあり方を求めていかなければと改めて実感。

（山本岩雄　記）